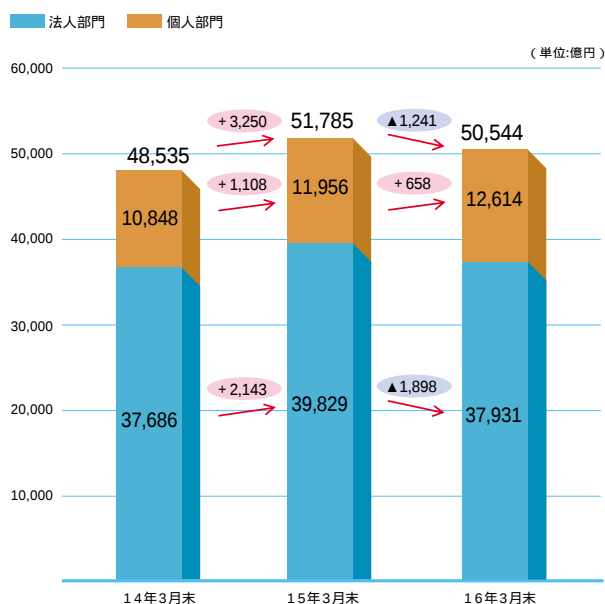


貸出金の状況

貸出金は地元企業を中心とした新規取引の開拓や総合取引の拡大に努めましたが、不良債権圧縮を進めたことから、前年比1,241億円減少して、期末残高は5兆544億円となりました。

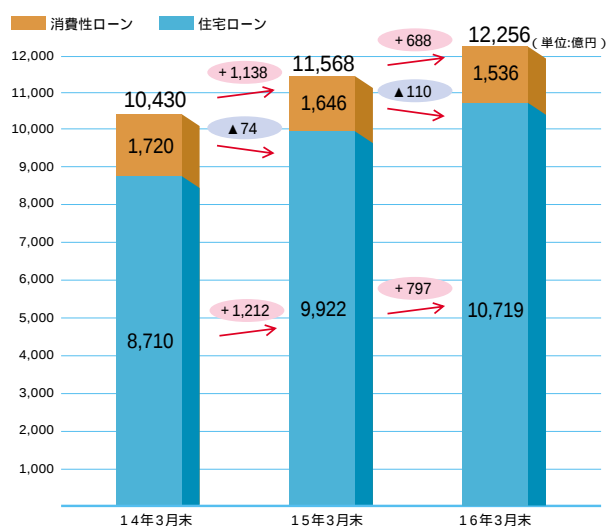
■ 貸出金残高(期末残高)



地域金融機関として、引き続き個人のお客さまや地元企業のお取引先の資金ニーズに積極的に取り組んでまいりましたが、不良債権圧縮を進めましたため貸出金残高は前年比1,241億円減少し、5兆544億円となりました。

法人部門は不良債権圧縮を主因に前年比1,898億円減少の3兆7,931億円、一方個人部門は前年比658億円増の1兆2,614億円となりました。

■ 個人ローン残高・住宅ローン残高(期末残高)



個人のお客さま向け貸出は、住宅ローンをはじめとした資金ニーズに対し、ローンセンターやリプラといった専門チャネルの拡充や商品内容の改定、ふくぎんマイホーム応援くらぶ等の情報支援などにより積極的にお応えしました。その結果、個人ローンは前年比688億円増加して1兆2,256億円となりました。そのうち住宅ローンは前年比797億円増加して1兆719億円となりました。